

令和4年度（2022年度）

管理事業名	監査事業				総合計画の体系	大綱 -	-
						政策 -	-
						施策 -	-
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 6	監査委員費	(目) 1	監査委員費
部局名	監査委員事務局	予算執行所属	監査委員事務局				
事業の目的と概要 【目的】 市の財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われるよう、また、市の経営に係る事務の管理が合理的に行われるよう、監査、審査及び検査を実施する。 【概要】 監査事業（年間監査計画に基づく財務監査及び行政監査（定期監査）、工事監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査・基金運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施及び住民監査請求に基づく監査の実施等）							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
定期監査（事前監査）実施件数	室・課	81	54	75	定期監査（事前監査）の実施件数
住民監査請求件数	件	1	1	2	住民監査請求の件数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】定期監査（事前監査）実施件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数75件（前年比21件の増） ・件数の増は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に13件の実施を見送り、令和4年度に実施したため。 ・不適切な事務処理等について、指導、助言等を行うことで改善を促進。 <p>【成果指標2】住民監査請求件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請求件数2件（前年比1件の増） ・監査結果は棄却1件、認容1件 <p>【財務情報に基づいた評価】</p> <p>事業の財源はすべて一般財源であり、事業に係るコストのほとんどが人件費である。年間監査計画に基づき地方自治法に定められた監査を効果的・効率的に実施するためには、現在の事業従事人数が最低限必要な人数と判断している。</p>	
---	--

III 課題と今後の取組

<p>住民監査請求は毎年請求件数が異なり、また内容によっても調査や監査に必要な業務量が違うため、複数の請求が同時期に集中した場合や、定期監査等の時期と重なった場合に、現在の人数での対応は困難な場合があると考えられる。</p> <p>今後も市の行財政運営が法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的に行われているかをチェックし、改善に向けた指摘等を行うとともに、監査結果を市民に公表することで、さらに市政に対する市民の信頼を高めていく。</p>	
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	3,941	4,649	708
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,941	4,649	708
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
固定資産	有形固定資産	-	-	-	固定負債	40,209	41,542	1,333
	土地	-	-	-	地方債	-	-	-
	建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	40,209	41,542	1,333
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
	インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	44,150	46,192	2,042
	土地	-	-	-	純資産	△44,150	△46,192	△2,042
	建物・工作物	-	-	-				
	建設仮勘定	-	-	-				
	重要物品	-	-	-				
	図書館資料	-	-	-				
	投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	△44,150	△46,192	△2,042
	出資金	-	-	-				
	長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-	

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	5	7	9	2
経常収入 小計(a)	5	7	9	2
給与関係費	56,087	55,158	56,768	1,610
物件費	1,105	1,293	1,386	93
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	134	110	97	△13
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,733	3,941	4,649	708
退職手当引当金繰入額	1,595	1,331	5,012	3,681
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	63,653	61,833	67,912	6,079
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△63,648	△61,826	△67,904	△6,078
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△63,648	△61,826	△67,904	△6,078
一般財源充当額	66,225	64,677	65,862	1,185
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	2,577	2,851	△2,042	△4,893

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民1人	コスト 169円 実績 376,944人	コスト 163円 実績 378,781人	コスト 178円 実績 381,238人

分析内容
市民1人当たり178円のコストがかかっている。
令和5年3月31日現在の吹田市人口で算出している。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5	7	9	2
行政サービス活動支出	66,230	64,684	65,871	1,187
行政サービス活動収支差額	△66,225	△64,677	△65,862	△1,185
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△66,225	△64,677	△65,862	△1,185
一般財源充当額	66,225	64,677	65,862	1,185
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	61,159	581	7.13
会計年度任用等	2,015		
特別職非常勤	3,255		
合計	66,429		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0